

定例記者会見

令和6年8月7日(水) 13時30分

福岡市医師会 会長所信表明
福岡市医師会について 一市民の皆様と共に一

福岡市医師会 会長 菊池 仁志



一般社団法人 福岡市医師会
会 長 菊池 仁志

担当：会務全般

医療機関：

医財) 華林会村上華林堂病院



1. 福岡市医師会について

会員数 2,733名 R6.8.1付

(1) 福岡市医師会が行う諸事業

本会は、医道の昂揚、医学、医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、あわせて会員の福祉を増進することを目的としています。

事業区分	主な活動	事業区分	主な活動
広報啓発	各種研究会活動、学術講演会、市民向け広報、健康教室	看護師育成	看護専門学校、看護師対策
公衆衛生保健	予防接種、学校保健	急患診療	急患診療センター
居宅介護支援	居宅介護支援	臨床検査	臨床検査センター
地域医療	介護・障害認定審査、介護予防支援、地域包括支援センター、地域産業保健センター、訪問看護ステーション、災害支援	健康づくりサポートセンター	健康づくりサポートセンター

(2) 福岡市との連携

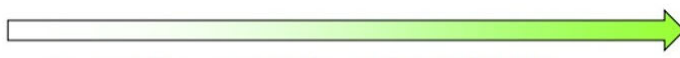
市民の健康福祉増進のため、福岡市からの委託事業を実施
乳幼児健診、予防接種、がん検診 など

(3) 市民向け講演会や健康教室の開催

禁煙教室、ウォーキング教室 など

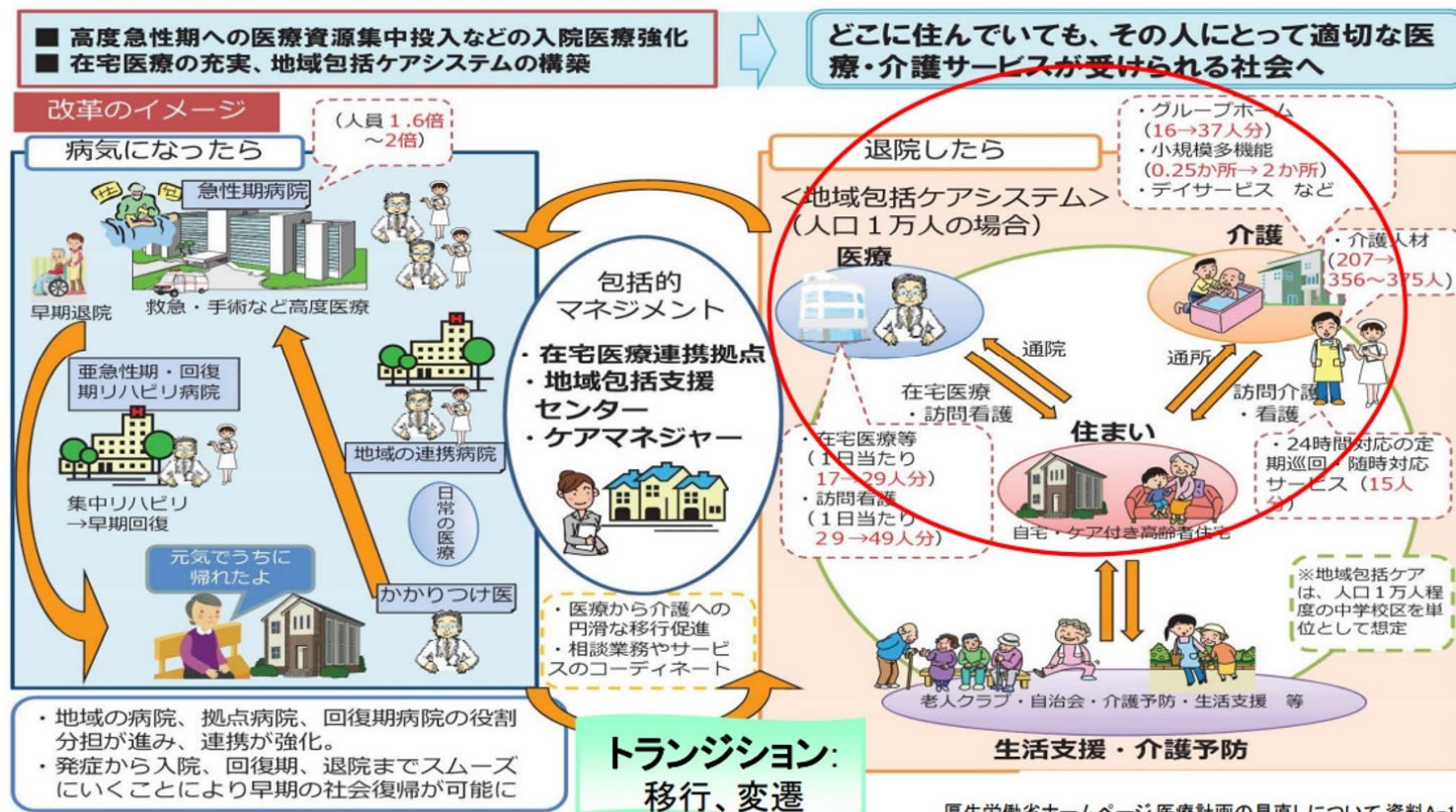
2. 現在の医療政策 ～ 地域医療構想と地域包括ケアシステム ～

治す医療



治し・支える医療

トランジション(移行・変遷・過渡期)



厚生労働省ホームページ、医療計画の見直しについて、資料A-1,P23.

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/iryuu_keikaku/dl/shiryuu_a-1.pdf

※厚労省HPより

3. 現在の医療政策 ～ 医療DX ～



<医療DXの各施策>

- ・ オンライン資格確認の導入
- ・ 電子カルテ情報共有サービス
- ・ 標準型電子カルテシステム
- ・ 電子処方箋
- ・ 公費負担医療制度のオンラインによる資格確認
- ・ 予防接種事務のデジタル化
- ・ 介護情報基盤の構築
- ・ 医療等情報の二次利用
- ・ 診療報酬改定DX

※厚労省HPより

4. 現在の医療政策 ～ 医師の働き方改革～

(1) 時間外労働の上限規制

勤務医に対する時間外労働の上限規制適用 **(年960時間)**

(2) 健康確保措置

勤務間インターバル・**代償休息**や長時間労働医師への**面接指導**が義務付け

(3) 宿日直許可

医療法により病院や有床診療所における医師の宿直は義務宿日直許可を受けていない医療機関での宿日直に携わる時間は労働時間に含まれる

<働き方改革の懸念点 >

- ① 医師派遣の制限や引き揚げ
- ② 救急医療や産科医療への影響
- ③ 診療体制への影響

5. 市民の皆様のための取組み（1）

（1）予防医学

①各種検(健)診の実施

各種がん検診、乳幼児健診、学校検診
特定健診・特定保健指導 等

②予防接種の実施



（2）急患診療事業

①夜間・休日の急患診療

福岡市急患診療センター・各診療所



6. 市民の皆様のための取組み（2）

（3）感染症対策

①医療提供体制の整備

外来対応医療機関、急患診療センター 等

②ワクチン接種体制の構築

③最新の医療情報の発信

定例記者会見、定例会見動画、報道機関からの取材対応 等



（4）認知症対策

①「福岡市認知症疾患医療連携体制」の整備

認知症サポート医、認知症相談医



（5）災害対策

①他都市医師会との相互支援に関する協定締結

②各医療機関毎の BCP（事業継続計画）作成支援予定

